

# 目標と実績

## 第4期環境行動計画の進捗状況

富士通グループの全事業領域を見据えた明確な目標を設定し、計画的かつ継続的に環境保全活動に取り組んでいます。

### 「第4期環境行動計画」について

富士通グループは、「環境方針」を実践していくための具体的目標として、1993年に「第1期環境行動計画」を策定して以来、行動の範囲を富士通の全事業領域へ、グループ会社へと段階的に拡大しながら、そのテーマを発展させてきました。

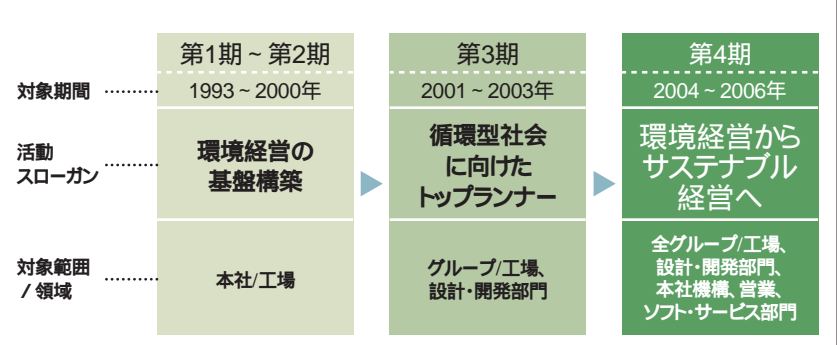
2004年度から2006年度にかけての「第4期富士通グループ環境行動計画」では、行動の範囲を富士通グループの全領域（工場、設計・開発部門、本社機構、営業、ソフト・サービス部門）にまで拡大。「環境経営からサステナブル経営へ」をスローガンに掲げ、体系的な環境保全活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献することをめざしています。

第4期環境行動計画の初年度にあたる2004年度は、一部の項目を除き、ほぼ予定通り進捗しています。達成度が低いものについては、2006年度の達成期限に向けて、より一層取り組みを強化していきます。また、事業構造が変化したことによ

て、前倒しで目標達成した項目（化学物質 = PRTR 対象物質の使用量削減）もあります。

**PRTR**  
Pollutant Release and Transfer Register  
環境汚染物質排出移動登録。P54をご覧ください。

富士通環境行動計画の変遷



### 第4期富士通グループ環境行動計画

項目	富士通グループ目標	実績(2004年度)	関連ページ
環境経営の強化	環境マネジメントシステムに基づく環境経営の枠組みを、2005年度末までにグループ全社で確立する	国内グループ会社97社を対象とし、グループ統合認証取得	P36
グリーン調達	環境マネジメントシステム(EMS)が構築された取引先からの調達比率を2006年度末までに100%とする	すべての調達品(製品用部品・材料・ソフトウェア・設備・工事・保守など)を対象として、EMSが構築された取引先からの調達比率98.3%を達成	P57
製品環境対策	全事業部門の主要製品群から環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を、2006年度末までに提供する	ノートPCや電子部品、半導体など富士通グループで12製品群をスーパーグリーン製品として開発	P43～
	すべての製品に含有する富士通グループ指定有害物質を、2005年度末までに全廃する	製品の有害物質非含有を実現する部品類のデータベースおよび関連基準などの開発インフラの構築。全社で共通的に使用する汎用部品90%は、有害物質を含まない部品へ代替	
製品リサイクル	リサイクルシステムを、2004年度末までに欧州、2006年度末までに北米、アジアで構築する	欧州のグループ会社ごとにリサイクルの仕組み(個別・共同)や物流・リサイクルパートナーを決定。今後は各国の法制化に合わせ、確認・調整を図り運用	P47～
	回収した使用済み製品の資源再利用率を、2006年度末までに90%達成	資源再利用率は88.3%となり、2003年度実績から1.7ポイント向上	
	回収した廃プラスチックの再生利用率を、2006年度末までに20%にする	分別したプラスチックは、イベントグッズとしてEco clipケースやうちわなどに再生利用	
環境貢献ソリューション	ソフト・サービス事業の全領域において、お客さまの環境負荷低減に貢献する「環境貢献ソリューション」を、2006年度末までに提供する	パッケージ商品分野を中心に、28商品を認定。796社のお客さまに導入し、34,500t-CO <sub>2</sub> の削減に貢献。加えて、SI(システムインテグレーション)個別システムでの環境負荷試算を推進中	P49～
地球温暖化防止	ライフサイクル全体で環境効率向上をめざす ・エネルギー消費CO <sub>2</sub> を、2010年度末までに1990年度実績以下に抑制する(2006年度末までに2000年度実績比15%削減) ・CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガスを、2010年度末までに1995年度実績比10%削減する ・物流・リサイクル・省エネ製品などにより削減貢献	・エネルギー消費によるCO <sub>2</sub> 排出量は、約128.1万トンであり、2000年度実績比20.5%削減(1990年度実績比では18.3%増加) ・CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス(PFC、HFC、SF <sub>6</sub> )の排出量は、約47.5万トンであり、1995年度実績比83.2%増加	P51～
グリーンファクトリーの推進	化学物質(PRTR対象物質)の排出量を、2006年度末までに2001年度実績比15%削減する	対象化学物質の排出量は52.1トンであり、2001年度実績比48.1%削減	P53～
	廃棄物発生量を、2006年度末までに2003年度実績比3%削減する	事業所の廃棄物発生量は50,120トンであり、2003年度実績比1.5%削減	